

歯周病の治療における再生療法の最前線 重症の歯周炎を解決！

**こわーい歯周炎も
再生療法で回復できる！**

第3弾でご説明したように、歯周炎は歯周病菌が原因で、歯茎が腫れ、歯を支える骨が溶ける病気です。

放っておくと歯が抜けてしまう怖い病気です。そこで、今回は失われた歯や歯茎を回復させる「再生療法」についてご説明します。

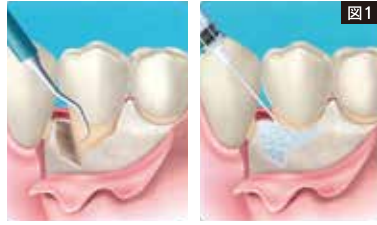
歯周炎の治療

は、原因である歯周病菌を退治することから始まります。主に歯周病原菌をブラッシングで取る方法を指導することや、歯石を丁寧に取っていくことから始まります。これでも歯周病が治らない場合に、再生療法を選択することがあります。歯周組織の再生療法は、歯茎を丁寧に歯から分離し、歯の周りを掃除し、組織再生を誘導する薬を塗ります(図1)。そして、丁寧に歯と歯茎を縫い合わせて治りを待ちます。傷がある程度回復したら、歯周病が再



▲青い部分は無かった骨が再生した状態の症例。

発しないように歯周病原菌の退治を継続。ブラッシングを継続することや数ヶ月毎の歯科医院にお



▲歯茎を切開して、根っこに付いたバイ菌を取る。 ▲骨がないところに組織再生を誘導する薬を塗る。

(出典: 科研製薬株式会社資料)

るメンテナンスで歯周病原菌を退治します。このような二連の治療によって、歯を支える靱帯や骨、歯茎の再生を促します(図2)。

再生療法で、歯を支える歯茎・靱帯・骨を回復

再生療法は非常に繊細な手術です。テクニック・センスタイプと言われ、外科医の技術が治療成績に大きく影響することが明らかとなっています。なお、手術は完全無菌状態で行われる必要があります。さらに、歯科衛生士による再生療法前のブラッシング指導や歯石取り、長期的なメンテナンスは非常に大切です。再生療法を受ける際の歯科選びに、図3のリストを参考にして下さい。また、歯茎が下がったときに歯茎を再生することもできるようなってききました。別のところから歯茎を移植したり、コラーゲン製剤や組織誘導剤を

再生療法を受けるためのチェックリスト

- 治療ステップや費用などに関して十分な説明があるか。
- 時間を掛けて歯科衛生士がブラッシング指導や歯石取りを行っているか。
- 清潔で高度な設備を整えている手術室があるか。
- 手術は完全に清潔な状態で行われているか。全ての器材が完全に滅菌されているか。全身管理を行っているか。
- 担当医やスタッフの技量は経験は充分であるか。
- CTを使って再生療法の計画を立てているか。
- 再生療法後の長期的なメンテナンスを行っているか。

図3

応用する方法があります(図4)。

再生療法は、失われた歯茎や骨を回復する素晴らしい治療法です。再生療法で歯周炎を治し、健康な状態にすることが出来ます。但し、重症の歯周炎の場合は手遅れになり、再生療法ができないこともあります。ぜひ健康的な毎日を送るために、早めに専門家に相談して下さい(再生療法は保険外診療になることがあります)。



▲青い部分のように歯茎が下がってしまっても、再生療法で健康的な歯茎にすることができる。



医療法人 くのうえ市丸歯科
院長 市丸 英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める。歯周病に関する国際的な論文発表などを重ね、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410 住/鳥栖市蔵上2丁目187番地
URL www.10shika.jp/index.htm

医療法人 くのうえ市丸歯科



院長 市丸英二(歯学博士)
・日本歯周病学会認定 歯周病専門医・指導医
・長崎大学大学院(歯周病学)卒

副院長 山口竜亮(歯学博士)
・長崎大学大学院(歯周病学)卒



お問い合わせ・ご予約

☎0942-81-5410

鳥栖市蔵上2丁目187番地

月 10:00~13:00 / 15:00~19:00

木 10:00~14:00 土 9:00~13:00

くのうえ市丸歯科 検索 http://www.10shika.jp/index.htm

